

日本薬局方 フェノール・亜鉛華リニメント

カチリ「ヨシダ」

Kachiri「Yoshida」

貯法：室温保存

有効期間：3年

承認番号 16100AMZ01785000

販売開始 1961年1月

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

び爛・潰瘍・結痂・損傷皮膚及び粘膜には使用しないこと。
[フェノールが吸収され中毒症状を起こすおそれがある。]

3. 組成・性状

3.1 組成

有効成分	1000g 中 日局液状フェノール 22mL 日局酸化亜鉛 100g
添加剤	カルメロースナトリウム、グリセリン、トラガント末

3.2 製剤の性状

性状	白色ののり状で、僅かにフェノールのにおいがある。
----	--------------------------

4. 効能又は効果

皮膚そう痒症、汗疹、じん麻疹、小児ストロフルス、虫さされ

6. 用法及び用量

通常、1日1～数回、適量を患部に塗布する。なお、症状により適宜増減する。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	過敏症状
皮膚	発疹、刺激感等

14. 適用上の注意

14.1 薬剤使用時の注意

14.1.1 眼には使用しないこと。

14.1.2 長期間又は広範囲に使用しないこと。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

フェノール（2%）の防腐、消毒、鎮痒作用と酸化亜鉛の収れん作用のほか、皮膚面に塗擦すると水分が蒸発してトラガントの薄膜が残り、皮膚を保護する作用を有する¹⁾。

19. 有効成分に関する理化学的知見

19.1 液状フェノール

一般的名称：液状フェノール（Liquefied Phenol）

性状：無色又は僅かに赤色を帯びた液で、特異なにおいがある。

エタノール（95）、ジエチルエーテル又はグリセリンと混和する。

グリセリンの等容量混液は水と混和する。

光又は空気によって徐々に暗赤色となる。

皮膚を侵して白くする。

比重 d_{20}^{20} : 約 1.065

19.2 酸化亜鉛

一般的名称：酸化亜鉛（Zinc Oxide）

分子式：ZnO

分子量：81.38

性状：白色の無晶性の粉末で、におい及び味はない。

水、エタノール（95）、酢酸（100）又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

希塩酸又は水酸化ナトリウム試液に溶ける。

空气中で徐々に二酸化炭素を吸収する。

22. 包装

50g（ポリ容器）、500g（ポリ容器）

23. 主要文献

1) 第十八改正日本薬局方解説書 廣川書店、2021：C-4635-C-4636

24. 文献請求先及び問い合わせ先

吉田製薬株式会社 学術部
〒164-0011 東京都中野区中央 5-1-10
TEL 03-3381-2004
FAX 03-3381-7728

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元



吉田製薬株式会社

埼玉県狭山市南入曽951